

SAS® プログラミング 3: 上級テクニックと効率化

アクセス可能期間: 180 日間/価格 141,000 円(税抜)

受講対象

経験豊富な SAS プログラマー

前提知識

下記 2 コースを受講済みか、同程度の知識のある方

「[SAS プログラミング 1: 必須要素](#)」

「[SAS プログラミング 2: データ加工テクニック](#)」

- ・ 累積列の作成と、グループ内でのデータの処理
- ・ 関数を使用したデータの操作
- ・ 列のタイプの変換
- ・ カスタム出力形式の作成
- ・ テーブルの連結と結合
- ・ 反復コードの処理
- ・ テーブルの再構築

学習内容

本コースは、DATA ステップとプロシジャでの高度なテクニックを学習したい SAS プログラマー向けです。本コースは、「[SAS プログラミング 1: 必須要素](#)」コース、「[SAS プログラミング 2: データ加工テクニック](#)」コースで紹介されているコンセプトに基づいています。

本コースは、SAS 認定試験「[SAS 認定プロフェッショナル Advanced Programming Using SAS 9.4](#)」の準備にも適しています。

- ・ 追加の関数 (LAG、FINDC/FINDW および COUNT/COUNTC/COUNTW) の使用
- ・ PRX 関数を使用したパターン一致の実行
- ・ 反復コードの処理、データの回転、および配列を使用したテーブルルックアップの実行

- ・ ハッシュおよびハッシュ反復子オブジェクトを使用したテーブルルックアップの実行とデータの並べ替え

- ・ FORMAT プロシジャを使用した数値テンプレートの作成
- ・ FCMP プロシジャを使用したカスタム関数の作成

コンテンツ

■はじめに

- ・ 本コース用のセットアップ
- ・ DATA ステップの復習

■拡張的な関数の使用

- ・ さまざまな拡張関数の使用
- ・ Perl 正規表現を使用したパターン一致の実行

■配列の定義と処理

- ・ 一次元配列の定義と参照
- ・ 一次元配列を使用した更なる処理
- ・ 二次元配列の定義と参照

■ハッシュ・オブジェクトの定義と処理

- ・ ハッシュ・オブジェクトの宣言
- ・ ハッシュ・オブジェクトの定義
- ・ ハッシュ・オブジェクト内でのキー値の検索
- ・ テーブルへのハッシュ・オブジェクトの書き込み
- ・ ハッシュ反復子オブジェクトの使用

■ユーティリティプロシジャの使用

- ・ FORMAT プロシジャを使用した PICTURE 出力形式の作成
- ・ FCMP プロシジャを使用した関数の作成

対象プロダクト

Base SAS®